

平成 28 年度
市に対する提案・要望書

平成 27 年 11 月 9 日
自由民主党静岡市議会議員団
会長 鈴木 和彦

政策提言

第2期田辺市政、第3次総合計画2年目の年である平成27年度には、従来から取り組んできた政策をさらに充実・発展させ、「『世界に輝く静岡』の実現」を目指し邁進していくことが求められる。さらに、本年10月に策定した静岡市版総合戦略を本格的にスタートさせることから、未来の静岡市を決定付ける重要な一年となる。

本市は、東京圏と名古屋圏の中間に位置する地理的優位性、温暖な気候と多彩な地形等の自然環境に恵まれ、悠久の歴史と先人たちのたゆまぬ努力により育まれた都市機能を具えた都市である。

しかしながら本市の人口は、平成2年をピークに減少に転じ、また、指定都市20市のうち最少となっており、厳しい現実も突きつけられている。

そのような中、第3次総合計画が掲げる人口70万人の維持という高い目標の達成に向け、活発な経済活動と万全な災害対策も含めたセーフティネットにより裏付けられた安心して生活できる環境を確保し、人口流出の抑制と求心力の向上とを図らなければならない。

また、平成29年度には中部横断自動車道、(仮称)東名静岡東スマート・インターチェンジの供用開始も予定されている。これにより、高速道路網、静岡空港、特定重要港湾清水港とが相俟つての本市の交通結節点としての重要性はより一層高まるとともに、三保松原や日本平等への観光誘客への貢献も期待できる。この好機を逃すことなく、企業誘致から農業6次産業化までも見据えたインターチェンジ周辺整備、ソフト面まで含めた周辺観光地整備に力を傾注し、都市活力の源泉となる経済力を確たるものとしなければならない。

それらを進めるに当たっては、本市の特徴を最大限に活かし、市当局のみならず、我々市議会、市民、企業を含めた全市一丸となった取組みが不可欠であると考えている。

そこで自由民主党静岡市議団は、別紙のとおり政策提言いたします。

自由民主党静岡市議会議員団政策提言一覧表

区	番号	事業名
清水区	1	清水都心の再構築戦略
	2	入江富士見線「桜橋」の早期架け替えについて
	3	国道1号バイパス（清水区蒲原～興津）の代替道路確保について
葵区	1	静岡南北道路の整備促進
	2	麻機遊水地とその周辺の総合福祉エリア化
	3	谷津山トンネルの早期完成
駿河区	1	都市力としての住みやすさを追求した駿河区の創造
	(1)	都市活力としてのすべての市民、来訪者が移動しやすい交通環境
	(2)	都市活力としての安心安全な駿河区づくり
	(3)	定住人口と交流人口の増加につながるにぎわいの創出
全区	1	高齢者等の交通対策
	2	防犯カメラの設置
	3	たいこ練習場の整備（各区1カ所）